

1. 調査目的

2011年2月22日12時51分（現地時間）に発生した、ニュージーランド・クライストチャーチ市南東約10km、深さ5kmを震源とする地震（M6.3）では、震源域及びクライストチャーチ市内外において多数の建築物が倒壊あるいは損壊し多くの物的被害を生じているのに加え、200名近くの尊い命が犠牲になっている（2011年3月4日現在）。本地震では、大加速度振幅や大速度パルスを含む強震観測記録が得られており、これらの観測事実と建築物被害あるいは液状化被害との関係を明らかにすることは今後の建築物被害軽減に非常に重要である。

以上のことを踏まえ、本調査チームは本震観測点と本震時被害多発地域の地下構造の推定を行い本震強震動記録に基づき本震時被害多発地域の強震動を推定することを目的として調査を行う。

2. 調査項目

上記当初調査目的にしたがって、以下の項目について調査研究を行う。

- 1) 本震観測点および本震時被害多発地域の地下構造の推定
- 2) 本震の地震基盤レベルでの強震動の推定
- 3) 本震時被害多発地点での強震動の推定
- 4) 上記結果のとりまとめと報告書の公開

3. 活動組織

- 団長：川瀬 博（京都大学）
団員：早川 崇（清水建設）
青井 真（防災科学技術研究所）
川辺 秀憲（京都大学）
倉橋 奨（愛知工業大学）
松島 信一（京都大学）

4. 滞在期間および宿泊先

活動は以下の日程で行う。

- 3/15(火) 日本発
3/16(水) Christchurch 着、被害多発地域の視察、観測点候補の下見、先乗り隊との情報交換
3/17(木)–3/20(日) 余震観測点の設置、微動観測
3/21(月) 余震観測データ回収、余震観測点の撤収
3/22(火) Christchurch 発
3/23(水) 日本着

宿泊は、以下の宿泊施設である。

Courtesy Court Motel
33 Sherborne Street, Christchurch

5. 現地受け入れ機関および協力者

Dr. John Zhao（GNS Science）